

1. 本園の教育目標

「よくあそぶ子」、「よくがんばる子」、「よくかみがえる子」という三本柱を保育の中心に置き、主体的に活動できる子を育てる

2. 2021年度 重点的に取り組む目標・計画

<ul style="list-style-type: none"> ・保育方法や展開を研究する（保育方法の研究） ・危機管理マニュアルの見直し（危機管理） ・長期的な見通しをもって保育内容を工夫（資質の向上） ・公式アカウントの利用方法（情報公開）

3. 2021年度 教職員の達成及び取り組み状況

保育の計画性	長期的な見通しをもった保育計画を考えてきた コロナ禍に於ける新たな形での保育も柔軟に対応することができた	A
保育のあり方 幼児への対応	教職員共に新しい環境で子どもたちの今のすがたを尊重しながら園児ひとりひとりについて保育を行った	B
資質や能力・適正	研修を受けたり、コロナ禍に於いて柔軟な対応ができていた反面、そのことで人員をとられたりして他の教職員の保育を見る機会を設けることがなかなかできなかった	B
保護者への対応	個別の保育提供を行った際などに、こどもの育ちについて共有を図った また、毎月のクラス便りを通して子どもの成長を共有した	B
地域とのかかわり	区役所や消防署といった関わりの他は積極的な関わりを持つことができませんでした	C
研修と研究	外部講師陣による園内研修で、運動あそびに於ける心身の発達について教職員間での知識技術の共有を図り資質の向上に繋がった	A

4. 2021年度 総合的な評価結果

B	年間で重点的に取り組む内容について、個人での研究研修のほか他の教職員や外部講師陣との検討の結果、概ね適切に保育が行われた 職員それぞれが保育内容についても PDCA サイクルを意識してさらなる向上を目指している
---	--

◎「3・4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

5. 2021年度 今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の計画性	園の教育理念や全体的な計画に基づき就学前の育ちについて教職員間でもっと精査する
保育のあり方 幼児への対応	本園の教育理念でもある慈愛の心をもって保育にあたり、のびのびとした保育環境を提供する
資質や能力・適正	研修・保育について管理職に年 1 回以上は評価をもらう
保護者への対応	コロナ禍で来園数が少なくなっているが、子どもの発育について情報提供や講演会の案内をする
地域とのかかわり	淡路駅周辺工事の状況により園外活動のルートを随時再考
研修と研究	園内で整備したりリモート研修を受講できる環境をうまく活用して、研修の機会をできるだけ増やす

6. 2021年度 学校関係者評価

先生方が子ども一人ひとりについてよく把握して、見守ってくれるのは心強い
消防署による防火訓練、動物に変身して避難する防災ダック訓練、地域清掃クリーン大阪、人と人とを結ぶ紙芝居の会による読み聞かせ、アラウータン体操に合わせた手洗い指導など、子どもたちも楽しんで参加できた
毎日の衛生管理として感染対策を徹底していただき、先生たちの日頃の尽力には大きく評価する
そういった姿を拝見することで、保護者も負担は大きいものの不満なく感染拡大防止対策に協力することができていると思われる
臨床心理士による子育て相談や教職員へのアドバイスは地域の子育て支援のみならず円滑に保育を進める上で重要な要素となった
運動会応援団、段ボール迷路などDADDY-Aでのお父さんの会の活動が子どもたちにとって大好評であったが、もう少し活動を増やしたかった

7. 2021年度 財務状況

公認会計士による監査において、財務状況が適正であることについて評価を受けております。
--